

## 「お授戒」

平成二十七年六月一日から五日まで五日間 新潟市江南区沢海 大榮寺において「お授戒会」が行われた。戒師、五十嵐紀典老師・戒弟、約一二〇名

平成二十七年六月五日 三条市 宗正寺において「因脈会」戒師、福山諦法猊下・戒弟約八〇名

「授戒」とは僧侶がそれぞれの配役にあたり、一寺に集まり戒弟に対して仏の戒法を授けて仏の位に入らしめ仏祖正伝の血脈を授与する儀式

※戒師・・・戒を授ける役・戒弟・・・戒師より戒を受ける人

福山禅師の御垂示

「お授戒はお釈迦様がお悟りになられた尊いご戒法を、お釈迦様からその弟子へ、またその弟子へと伝授する作法のこと。皆さんに差し上げた儀式はお授戒の一部。本来は一週間お修行して授かる。今日は一日で授けました。因縁血脈と申します。出家在家に問わず、どなたでも修行して戒を授かれば、その力により仏の御子として自分を見いだし、心安らかに毎日を感謝の日々として生活することが出来るのであります。」と示された。

実際、大榮寺において戒弟の顔を見ていと目を追うごとに顔つきが変わっていました。毎日、僧侶や戒弟皆さんで修行した成果と思われまます。

血脈を授かれば終わりか。否むしろはじまり。

宮崎禅師の言葉「一日真似れば一日の真似、二日真似れば二日の真似、ずっと真似れば本物だ」

仏の教えを信じ、慈しみの心、感謝の心をもって生活しましょう。

平成二十七年六月二十二日

加茂法話会

寒河江文洋